

森川組が創意開発技術賞

国交大臣表彰 国土技術開発賞

国土技術研究センターと沿岸技術研究センターは28日に「第23回国土技術開発賞」の表彰式をウェブ方式で開いた。最優秀賞は大成建設とその技術開発者が受賞。地域の企業ではタック(岡山県)、山高建設(新潟県)、森川組(函館)がそれぞれ創意開発技術賞に選ばれた。

国土技術開発賞は、技術開発者に対する研究開発意欲の高揚と建設技術水準の向上を目的に、住宅・社会資本整備、国土管理など建設分野の新技术を国土交通大臣が表彰するもの。最優秀賞と優秀賞に選ばれた技術は、ものづくり日本大賞(内閣総理大臣表彰)の候補として推薦される。

表彰式に出席した赤羽一嘉国交相は、「いずれも国が直面する課題解決に寄与する素晴らしい技術」とし、法人と技術開発者の日頃の努力に敬意を表するとともに、一層の活躍を期待した。

今回は応募のあった40件の中から、最優秀賞1件、優秀賞2件、入賞5件、創意開発技術開発賞3件の計11件を選んだ。最優秀賞、優秀賞、創意開発技術賞は次の通り。(①応募会社②技術開発者、敬称略)

▽免制振構造を利用した壁柱架構システム①大成建設(東京)②篠崎洋三、小室努
【優秀賞】
▽吸水性泥土改質材と改質土の活用技術①五洋建設(東京、ジャイワット(千葉)②山内裕元、和栗成樹▽化学的手法を

用いた基礎ぐい工事の施工品質検査技術①清水建設(東京)②依田侑也、浅香美治

【創意開発技術賞】

▽土質変化に対応する泥水二次処理剤自動添加システム①タック(岡山)②吉田智哉、川端裕也▽消雪パイプ高圧洗浄の効率化技術①山高建設(新潟)②高野浩、藤巻光生▽ICT活用による消波ブロック据付作業の効率化①森川組(函館)②堀田佳孝、佐々木健吾

消波ブロック据付にICT活用

森川組の技術力光る



表彰式に臨む森川社長(右)と堀田室長

2021年度の国土技術開発賞に森川組が道内から唯一、選ばれた。28日にリモートで開催した表彰式に森川基嗣社長らが函館市内の本社から出席し、赤羽一嘉国土交通相から表彰を受けた。

国土技術研究センターと沿岸技術研究センターが主催の建設産業に関わる優れた新技术をたたえる表彰。森川組は19年度に函館開港から受注した須築漁港ほか西防波堤改良で、消波ブロック据え付けに活用したICTが評価され、創意開発技術賞(国交大臣表彰)を授

与された。

同社では16年度にICT推進室を設置し、働き方改革や生産性向上につながる新技术の開発を進めてきた。堀田佳孝室長と、現場代理人を務めた佐々木健吾土木部工事次長の創意工夫が実を結んだ。

(函館)